

<テーマ>

ラルシュ共同体の 研究を通して

いのちの営み～病・老・障・死とどう向き合うか～

登壇者

寺戸淳子氏

宗教人類学者

平成30年 **2月19日** 月
13:30～16:00 (受付13:00～)

聞法会館3階研修室①

〒600-8357 京都府京都市下京区堀川通花屋町上ル
TEL 075-342-1122

定員100名 / 申込不要 / 聴講無料

お問い合わせ

浄土真宗本願寺派総合研究所 (教学伝道研究室)

〒600-8349 京都市下京区堺町 92 Tel:075-371-9244 Fax:075-371-5761

第13回 別離の悲しみを考える会

現在、先進国と言われる国々では、「病・老・障・死」という人間の生命現象に不可避の困難は「私事」化され、プライバシー保護の理念によって他者の干渉から「守られている」ように見えます。他方で、そのことが、私たちの生きにくさの原因にさえなっているのではないかと思えるのです。

そこで、第13回となる本会では、こうした生命の「私事」化を課題として、〈20世紀のカトリック教会世界における「終油の秘跡」改革〉〈聖地ルルドに展開するがん患者たちの巡礼〉〈知的な障害がある人たちとアシスタントが共同生活をするラルシュ共同体運動〉の事例を通して、「人が人とともに生命をまっとうする」ことについて、ともに考えてみたいと思います。

《寺戸淳子氏プロフィール》

専修大学兼任講師。宗教人類学。19世紀以降のフランス・カトリック世界の研究が専門（ルルド巡礼、ラルシュ共同体運動）。主著『ルルド傷病者巡礼の世界～（知泉書館、2006年）

タイムスケジュール

- 13:30—14:30 ……講演
- 14:30—14:45 ……休憩
- 14:45—15:15 ……対談
- 15:15—15:45 ……質疑応答
- 15:45—16:00 ……まとめ・閉会あいさつ

アクセスマップ



- 京都駅から車で5分
- 市バス 9・28・75号系統「西本願寺前」下車 徒歩3分
- 駐車場無料(大型バスも可)

お問い合わせ

浄土真宗本願寺派総合研究所（教学伝道研究室）
〒600-8349 京都市下京区堺町 92 Tel:075-371-9244 Fax:075-371-5761